

氏名	山岸直子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	慢性看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	2007年聖路加看護大学大学院博士前期課程、2018年首都大学東京大学院博士後期課程				
経歴	2008年慶應義塾大学看護医療学部助教、2013年東京医科大学医学部看護学科講師、 2017年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本糖尿病教育・看護学会（専任査読委員）、日本慢性看護学会、日本がん看護学会、日本看護学教育学会（専任査読委員）、日本リハビリテーション看護学会、日本エンドオブライフケア学会（専任査読委員） 保健医療福祉科学学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	臨床推論力向上をめざしたシミュレーション教育の評価（第1報）－シミュレーション前後の臨床推論の変化－	共同	日本看護学教育学会 第35回学術集会、北見		○會田みゆき、常盤文枝、 <u>山岸直子</u> 、金さやか、東口晴菜	2025.9	
2	臨床推論力向上をめざしたシミュレーション教育の評価（第2報）－シミュレーション実施が臨床判断能力へ与える効果－	共同	日本看護学教育学会 第35回学術集会、北見		○常盤文枝、會田みゆき、 <u>山岸直子</u> 、金さやか、東口晴菜	2025.9	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	高齢糖尿病患者のセルフケア支援アセスメントツールの信頼性・妥当性と効果の検証		研究代表者	2024.4～2028.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	「もしも」の時の医療・ケアの話し合い行動意図尺度を用いた家族参加型ACP研修の開発		研究分担者	2023.4～2026.3		
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	認知的徒弟制を活用した臨床判断能力育成のための教育プログラムの開発		研究分担者	2025.4～2029.3		

3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	成人看護学Ⅴ（慢性看護）	○	16	2年生を対象に、概論の講義、慢性腎臓病患者の看護・入退院支援・慢性病をもつ人の災害看護の講義およびグループワーク、看護過程演習のガイダンスや解説・グループワークを担当した。授業前後小テストやグループワークなどを組み合わせ主体的な学習を促した。	
2	フィジカルアセスメント		5	修士課程1年生を対象に、身体診察と病歴聴取における実践の振り返り、対面での臨床推論シミュレーション演習を実施した。	
3	成人看護援助論		10	修士課程1年生を対象に、健康課題を有する人々のセルフケアの講義、文献クリティーク、研究計画書のディスカッションを担当。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	成人看護学Ⅴ（慢性看護）	○	4	2年生を対象に、臨床現場に近い状況設定での慢性病者への看護技術、心不全患者の観察シミュレーション演習を運営し指導した。	
2	臨床実践看護		7	4年生を対象に、輸液管理技術、術後の観察と初期評価のシミュレーション、突発事象への対応のシミュレーション演習を担当した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	成人看護学実習Ⅰ		2025.5～2025.6	3年生を対象に臨地実習を担当し手術室・HCUでの見学実習を行った。見学実習は半日と短時間のため実習前に目標を明確に事前学習を行ったうえで臨めるよう支援し意図的に学習できるようにした。	
2	成人看護学実習Ⅱ		2025.5～2025.6	3年生を対象に1クール2週間の臨地実習を2クール担当した。病態や治療、生活をふまえた対象理解、看護実践につなげるよう支援した。	
3	総合実習		2025.7	4年生を対象に3週間の臨地実習を担当した。学習課題に合わせた患者選定ができるよう調整や課題を意識した実践を支援した。	
4	IPW実習		2025.8、10	科目責任者会として実習運営（学生担当としてオリエンテーション、学生配置等）を担当した。最終日の発表会では、複数グループの学びの共有・討議を行えるよう運営した。補習実習を担当し、紙面事例を用い臨地に近い状況での学習設定の工夫やチーム活動が活発に行えるよう支援した。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2025.4～2025.12	主指導	3名	副指導 名
2	修士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	看護師を対象とした看護研究の講義（計4回）	東川口病院	研究計画書、データ収集・データ分析、論文（抄録）の書き方、プレゼンテーション		2025.4～2026.3
2	現職者向け多職種連携を学ぶ講座	埼玉県立大学	多職種チームによる実地実習（IPW実習）		2025,9
3	高校出張講座	春日部共栄高等学校	看護職を志す高校生のための看護学入門		2025,10
4	家族参加型アドバス・ケア・プランニング研修	埼玉県立大学 北本市	さいごまで自分らしく生きるための心づもり ～「もしも」の時に備えて～		2025.11

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県看護協会	学会委員長（学会運営、査読）	2025.6～2027.6
2	日本看護学教育学会	専任査読者	2024.4～2027.3
3	日本エンドオブライフケア学会	専任査読委員	2024.9～2026.8
4	日本糖尿病教育・看護学会	第15期専任査読者	2024.10～2026.9
5	日本看護協会	日本看護学会誌 査読委員	2024.4～2026.3
6	日本看護協会	第55回日本看護学会学術集会 抄録選考委員	2025.4～2025.12
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員会	2024.4～2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	IPW実習科目責任者会	2023.4～2027.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		